

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.69をお届けいたします。

facebook



FMD
OWNER'S CLUB



7月のTOPICS

■ 糖尿病予備群の臨床的リスクが発表されました

米国でも著名大学への販売が進んでおり、Web 展示ではありましたが本年の米国心臓学会議 (American College of Cardiology (ACC) 2021 : 70th Annual Scientific Session & Expo : ACC2021) にて初めて FMD 測定器を出展致しました。

今号では ACC2021 のトピックとして、米ボーモント病院の Adrian Michel 氏らから糖尿病予備群の臨床的リスクについて発表がございましたのでお知らせ致します。

心血管疾患は、米国での主要な死因であり、脳血管障害 (CVA)、心筋梗塞 (MI)、不安定狭心症、急性冠症候群を含む主要心血管イベント (MACE) は、死因の 25% となっています。2 型糖尿病は、心血管疾患の発症に対する主要な危険因子ですが、前糖尿病 (糖尿病予備群) の臨床的リスクについては明確ではありません。

研究の対象は、2006 ~ 2020 年の同院受診者 25,829 人。年齢は 18 ~ 104 歳で、12,691 人が糖尿病予備群、13,138 人が正常耐糖能であり、グループ間の MACE 発症率を比較しました。

14 年 (中央値 5 年) の retrospective な追跡で、糖尿病予備群の MACE の発症率 (17.97%、95% CI [17.3%、18.63%]) は、正常耐糖能群の MACE 発症率 (11.01%、95% CI [10.48%、11.55%]) よりも有意に高かった ($p < 0.0001$)。

今回の検討では、糖尿病予備群のイベントリスク上昇は、男性、黒人、心血管疾患の家族歴、および糖代謝異常以外のリスク因子のある患者でより強く認められ、交絡因子 (年齢、性別、BMI、血圧、血清脂質、睡眠時無呼吸、喫煙、末梢動脈疾患など) を調整後も引き続き有意であった。

また、ベースライン時に糖尿病予備群であったが追跡期間中に正常耐糖能に改善していた人も、イベントリスクの高い状態が続くことが分かった。

結論として糖尿病予備群は、MACE 発症率の大幅な増加に関連していると思われます。臨床医は、MACE に関連する罹患率と死亡率を防ぐために、糖尿病予備群のより積極的なリスク因子改善を検討する必要がありますとしています。

ところで本年の FMD news 1 月号でも話題としましたが、日本人では FMD-J Study の結果から、交絡因子を調整後でも、FBG < 90 mg/dL 群に対し、95-99、100-104、105-109、110-125 および ≥ 126 mg/dL または糖尿病群で FBG 値の増加に伴い FMD は有意に減少 (FBG < 90 mg/dL : $6.9 \pm 3.1\%$ 、90-94 mg/dL : $6.7 \pm 3.1\%$ 、95-99 mg/dL : $6.3 \pm 3.1\%$ 、100-109 mg/dL : $5.9 \pm 2.8\%$ 、110-125 mg/dL : $5.7 \pm 3.1\%$ 、 ≥ 126 mg/dL または糖尿病 : $5.1 \pm 2.6\%$; $p < 0.001$) しており、FBG < 90 mg/dL 群に対し、95-99 mg/dL 群、100-109 mg/dL 群、110-125 mg/dL 群、 ≥ 126 mg/dL または糖尿病群の FMD が有意に低値であることを報告しました。

糖尿病予備群の MACE 発症率低下のためにも、より早期から FMD をご活用いただけたら幸いです。